

名の崎物語

第 106 号
令和5年 7月1日
発行
茨城県古河市
名の崎会広報部会



令和5年度 名の崎会総会



令和5年度 名の崎会総会

名の崎会総会挨拶 2023年4月30日

名の崎会会長 染野 則夫

本日はGW前の何かとお忙しい中、針谷市長、菊池校長、安達校長をお迎えして名の崎会総会が開催されることは4年ぶりであり名の崎会全員の喜びです。有り難うございます。

名の崎会は、名の崎会会則第2条目的『名の崎会は、学区内地域住民相互に楽しみを感じ、ふれあいをもって、やすらぎある地域社会を築き、一層の連帯意識の高揚を図り、明るく住みよい名崎をつくることを目的とする』の実現のため、ボランティア精神に則り区長会のご支援・ご協力を得て共に活動しています。

その観点から、当名の崎会は、昨年コロナ禍ではありますが、万全の予防対策を実施して、第20地区区長会永井地区長をはじめとする区長の皆様の絶大なるご支援ご協力により、3年ぶりに、グラウンドゴルフ大会、ファミリースポーツ大会、サンタ宅配、名の崎会研修のイベントを開催し、名崎地区の多くの皆様の参加、協力をいただき『やっぱりやらないとダメだよ、参加できて良かった』と多くの感想をいただき、成功裏に実施することが出来ました。

また、名の崎会会報『名の崎物語』3回発行、実施したイベント情報、回毎に持集、例えば「18歳成人注意点」「フレイル防止、簡単なストレッチ、ラジオ体操のすすめ」などなど発信しました。

新年度は、政府の5月8日第2類から第5類への引き下げを受け、4年ぶりに、名の崎祭り、自主防災訓練も区長会と共に万全の準備をして開催したいと考えています。

勿論、感染状況の観察をしながら、厚労省『感染拡大防止協力要請、推奨』を踏まえての開催です。名の崎会（コミュニティ）は、活動あつての存在意義が発生します。

非日常から日常に切替えましょう！

また、今年度から、名崎小学校、三和東中とも『コミュニティスクール』活動が開始されます。その活動に区長会、名の崎会共に積極的に支援協力していきます。私もコミュニティ活動とも重なる部分があり、将来児童生徒が成人、大人、社会人、親となり地域社会においてこの経験が生かされるように、双方共に盛り上げられたらと考えます。校長先生よろしくお願いします。

ファミリースポーツ大会においては、新競技も取り組みたい、可能であれば恩名下坪行政区の協力指導を得て各行政区対抗綱引きも検討をお願いします。

名の崎会本部役員を始め、行政区選出のスポーツ郡会・生活郡部会・広報部会の各部会員の積極的な協力・活動により、名崎地区にお住まいの皆様への名の崎会のミッション達成に向けて、総力を結集したいと考えます。

部会員の皆様には、初めての方が多くを占めますが時間の許す限り行政区代表としても活躍されることを期待しています。

区長会、名の崎会、名崎在住の皆さんが共に活動して何より多くの皆さんに参加をいただいてこそ、シナジー効果、最大効果が生まれます。

重ねて名の崎会への、ご支援、ご協力、ご参加をお願い申し上げます。

第20地区地区長あいさつ

ふれあい・かかわりあい・つながりあい

第20地区地区長 永井 行男

地域社会とふれあい、かかわり、つながり地域活動をしている人は健康で、認知症にもなりにくいと言われています。人とのつながりに支えられ、救いになり、そして生かされているのでしょうか。

名の崎会や行政区主催の行事に積極的に参加している人も同じです。多世代・男女間の交流があると健康度はさらに高まるそうです。

古希を迎えた今回は私の認知症の予防になり、健康の秘訣である乗馬。ワクワク感に満たされ心のオアシスとなっている乗馬。10代から70代（約男性3割・女性7割）の幅広い世代間の交流ができる乗馬について述べてみます。

馬とふれあい・かかわりあい・つながりあう唯一のスポーツが乗馬です。馬と一体となって駆け回る爽快感は格別です。もしかして、戦国武将や織田信長も「鞍上人なく、鞍下馬なし」こんな感じで睥睨し、疾走したのでは・・・と想像したりします。3mの高さからは普段と違った世界を見る醍醐味があります。

年齢とともに丸くなってきた背中ですが、肩を開いてバランスをとりますので、心なしか姿勢（見た目のスタイル）が少しよくなったかなと自己満足しています。

2m近い大きな馬ですが温厚で人懐っこく、とても賢い動物です。何度も乗っているうちに、心が通い合うようになり、心の交流にもつながっています。

馬のつぶらな瞳に自分の姿が映っているのを見たときは馬と気持ちが通じ合い、何事にも代えがたいものがあります。体のぬくもりにふれ・かかわり・つながりあうと愛情もわきます。癒し・セラピー効果を感じながら、充実感と心身健康の泉をいただいています。

小さな喜びの積み重ねがステップアップへのエネルギーとなっています。これかもいつそう変化を求める、変化を忘れない、変化することに臆することなく新しい環境に対応していきます。何もしないことのほうがリスクは大きいと思います。

「人は始めることさえ忘れなければいつまでも若々しくある」

新区長あいさつ

恩名下坪行政区区長 塚原 徳雄

初めまして、恩名下坪の区長を仰せつかりました塚原徳雄と申します。

4月から区長に就任しまして区長の職務について勉強中で、不安と焦りの日々です。

区長に就任して過日、名の崎会総会に出席したら会長を始めとし役員一同ここ3年コロナ禍で様々な行事の自粛を余儀なく、待ち望んだ解除の日がきまして3年分の思いが、見て取れた様な熱い思いが感じられました。私もその一員に加わった事を誇りに思い老若男女が参加でき思い思いに楽しめる企画を創る手助けができればと考えております。微力ではございますがどうぞよろしくお願いいたします。

古屋松山行政区区長 渡邊 秀夫

古屋松山行政区の区長になりました渡邊秀夫です。区長会の皆様と協力してイベント行事等に参加したいと思います。

瀬戸屋敷行政区区長 塚原 忠次

私は瀬戸屋敷行政区区長塚原忠次72才です。諸先輩の御指導を頂き2年間微力ですが宣敷くお願い申し上げます。

前新田行政区区長 蒔田 一男

前新田行政区にはイベントがありません。何か区民の人達が楽しめることが出来たらいいなと考えています。

間中橋南行政区区長 村田 憲蔵

季節の移ろいは早く、満開だった桜も散り今は目にも眩しい新緑の時を迎えております。猛威を振るったコロナも5類に移行し、素人目にはこのまま終息(?)に向かうのかなとも思います。この様な変革の時に当り名の崎会も従来の殻を破り新たなスタイルを確立すべく模索しております。名の崎の皆様も変化を求め行動する事を希望します。

校長先生あいさつ

地域と共に

名崎小学校校長 菊池 隆史

5月にコロナウイルス感染症の位置付けが「5類」に変更になり、これまで中止や制限を受けた活動や行事が、コロナ禍前に戻ることを大いに期待しています。

8月の「名の崎まつり」は、地域の方々と協力をさせていただき、盛大に開催されることを楽しみにしています。地域の方々とのかれ合いを通して、子供たちが楽しみながら地域の一員として、自覚と感謝の気持ちが芽生えるものと確信しています。

本校の目指す児童像の一つに、「あいさつ・返事ができる児童」があります。この目標は、地域や家庭の皆様の協力がなければ達成することはできません。登下校の際などにお声かけをお願いいたします。

今年度も本校の教育活動につきましてより一層の御支援、御協力をよろしくお願い申し上げます。

郷土に誇りをもち、

たくましく生きぬく子の育成を目指して

三和東中学校校長 安達 恵子

今年度、校長として三和東中学校に赴任いたしました。素直で優しい子ども達、熱意ある教職員、協力的な保護者・地域の皆様との出会いに感謝すると共に、職責の重大さに身の引き締まる思いでおります。

名の崎会の皆様には、これまで地域の活動を通して子ども達が地域と関わり、社会性を身に付けるために大きな役割を担っていただいておりますこと、心より感謝申し上げます。

教育目標「郷土に誇りをもち、たくましく生きぬく子」の実現に向け、「主体性と協働」をキーワードに教職員一丸となって教育活動に取り組んでまいります。今年度も引き続き、名の崎会の皆様方のお力添えをいただけますよう、よろしくお願い申し上げます。

新部会長あいさつ

広報部会 部会長 鈴木日出夫

今年度より新たに広報部会長を拝命いたしました。ヒラ会員として長く広報部会にありましたが新たな気持ちで臨んでいきたいと思ひます。この数年コロナの影響でイベント等がことごとく中止となり、地域の情報を発信するという広報誌本来の目的が達成できませんでしたが、今年度より名の崎祭りを始め事業が開催されていけば多くの皆様の目にとまる楽しい広報誌づくりができると思ひます。

令和4年度 収支決算書					(単位:円)
収入の部	科 目	予算額	決算額	増減額	備 考
	繰越金	1,304,285	1,304,285	0	・前年度繰越金
	行政区会費	690,000	687,600	△ 2,400	・世帯@300円×2,292戸
	市助成金	1,300,000	751,000	△ 549,000	・古河市コミュニティ助成金
	参加負担金	171,000	98,400	△ 72,600	・グラウンドゴルフ@500円(79人)・サンタ宅配便@700円(37人) ・視察研修@2,000円×16人、1,000円×1人
	雑収入	134,715	225,112	90,397	・グラウンドゴルフ、ファミリースポーツ大会時弁当代(90,800円) ・広報紙広告代(30,000円)・そば売上代(20,800円)・利息(12円) ・視察研修時全国旅行支援補助(33,500円) ・本部役員会議、イベント事業反省会会費(50,000円)
	合 計	3,600,000	3,066,397	△ 533,603	

支出の部	科 目	予算額	決算額	増減額	備 考
	会議費	80,000	88,546	8,546	・監査、会議等
	事務費	20,000	16,496	△ 3,504	・切手代、用紙代、ファイル代
	部会運営費	120,000	90,000	△ 30,000	・広報部会@30,000円・生活部会@30,000円 ・スポーツ部会@30,000円・企画委員0円
	事業費	2,700,000	1,145,973	△ 1,554,027	・広報紙発行(246,246円)・グラウンドゴルフ大会(374,381円) ・ファミリースポーツ大会(379,145円)・サンタ宅配便(78,061円) ・イベント事業反省会代(68,140円)
	研修視察費	200,000	188,773	△ 11,227	・いわき震災伝承未来館ほか
	修繕費	50,000	0	△ 50,000	
	光熱水費	60,000	59,366	△ 634	・電気料(55,659円)・水道料(8,707円)
	交際費	60,000	17,000	△ 43,000	
	備品購入費	10,000	34,948	24,948	・石油ストーブ(1台)・非接触型体温計(2台)
	予備費	300,000	44,422	△ 255,578	・コミュニティ事務所火災保険料ほか
	合 計	3,600,000	1,685,524	△ 1,914,476	

(収入金額) 3,066,397円 - (支出金額) 1,685,524円 = (残金) 1,380,873円 次年度へ繰越金

令和5年度 収支予算					(単位:円)
収入の部	科 目	本年度予算額	前年度予算額	比較増減額	備 考
	繰越金	1,380,873	1,304,285	76,588	・前年度繰越金
	行政区会費	690,000	690,000	0	・世帯@300円×2,300戸
	補助金・助成金	1,300,000	1,300,000	0	・古河市コミュニティ助成金
	参加負担金	171,000	171,000	0	・グラウンドゴルフ@500円(110人) ・サンタ宅配便@700円(80人) ・視察研修会2,000円(30人)
	雑収入	158,127	134,715	23,412	・広報紙広告料@5,000円(1口) ・名の崎まつり協賛金、まつり売上、利息等
	合 計	3,700,000	3,600,000	100,000	

支出の部	科 目	本年度予算額	前年度予算額	比較増減額	備 考
	会議費	80,000	80,000	0	・役員会、総会等
	事務費	20,000	20,000	0	・事務用品、用紙、消耗品等
	部会運営費	120,000	120,000	0	・広報部会@30,000円 ・生活部会@30,000円 ・スポーツ部会@30,000円 ・企画委員@30,000円
	事業費	2,800,000	2,700,000	100,000	・名の崎まつり(1,600,000円) ・グラウンドゴルフ大会(250,000円) ・サンタ宅配便(100,000円) ・ファミリースポーツ大会(400,000円) ・防災訓練(200,000円) ・広報紙発行(250,000円)
	研修視察費	250,000	200,000	50,000	
	修繕費	50,000	50,000	0	・事務所施設修繕費
	光熱水費	60,000	60,000	0	・事務所電気代、水道代
	交際費	60,000	60,000	0	
	備品購入費	10,000	10,000	0	
	予備費	250,000	300,000	△ 50,000	
	合 計	3,700,000	3,600,000	100,000	

上記予算については、相互に流用できるものとする。



令和5年度 名の崎会事業計画



実施日	事業内容	備 考
4月30日(日)	令和5年度 名の崎会総会	於：下内農村集落センター
5月	各部会役員会	
7月 1日(金)	名の崎物語 第106号発行	担当：広報部会
7月27日(木)	名の崎まつり盆踊り練習	於：三和東中体育館
8月26日(土)	名の崎まつり	於：名崎小 予備日：8/27(日)
9月24日(日)	グラウンドゴルフ大会	於：尾崎ファミリースポーツ公園 予備日：9/30(土)
10月 1日(土)	名の崎物語 第107号発行	担当：広報部会
11月26日(日)	ファミリースポーツ大会	於：三和東中校庭・体育館 ※雨天時は名崎小も会場追加
12月10日(日)	自主防災訓練	於：名崎小校庭・体育館
12月17日(日)	名崎サンタ宅配便	担当：生活部会
2月 1日(水)	名の崎物語 第108号発行	担当：広報部会
2月	視察研修	担当：企画委員会

※その他、古河市コミュニティ推進協議会・古河市イベント行事、名崎小学校及び三和東中学校行事等への協力や各コミュニティ団体等への協力を予定しています。

※新型コロナウイルス感染症の感染状況により、日程が延期または中止になる可能性もあります。

※盆踊りへのご協力をお願いします。(7月27日練習、8月26日本番)

令和5年度 名の崎会本部役員

役 職 名	氏 名	行政区名	役 職 名	氏 名	行政区名
会 長	染 野 則 夫	下 内	スポーツ部会長	塚 原 健 二	丸 山
副 会 長	森 澄 雄	下尾崎一	生活部会長	塚 原 進	丸 山
副 会 長	大 谷 正 明	間 中 橋	広報部会長	鈴 木 日 出 夫	下 内
書 記	峯 照 男	恩名下坪	企画委員長	古 瀬 幹 也	間中橋南
会 計	中 沢 昇	加 下 間	企画委員	石 丸 政 仁	間 中 橋
監 事	相 馬 秀 吉	本 田 山	企画委員	阿 久 津 信 子	恩名下坪
監 事	蒔 田 清	新 立	企画委員	腰 塚 義 和	新 立
顧 問	羽 鳥 松 藏	丸 山	企画委員	畑 山 洋 子	新 立
自治振興部会長	永 井 行 男	下尾崎二	企画委員	穴 田 良 子	下尾崎一
自治振興副部会長	塚 原 治 夫	丸 山	企画委員	為 我 井 佳 子	下尾崎二

令和5年度 名の崎会専門部会員

行 政 区 名	自治振興部会	スポーツ部会	生 活 部 会	広 報 部 会
恩 名 下 坪	塚 原 徳 雄	塚 原 俊 雄	小 木 妙 子	江 澤 美 由 紀
古 屋・松 山	渡 辺 秀 夫	島 田 要	持 田 陽 子	永 島 恵 美 子
丸 山	塚 原 治 夫	塚 原 健 二	塚 原 進	武 藤 好 美
新 立	蒔 田 清	鶴 巻 佳 祐	水 垣 み どり	檜 村 真 知 子
江 口	山 田 平			
下 尾 崎 一	森 澄 雄	涌 井 利 博	伊 藤 昇	福 田 裕 美 子
本 田 山	相 馬 秀 吉	大 坪 裕 明	蔭 山 朋 美	野 尻 弥 生
下 尾 崎 二	永 井 行 男	岡 野 正 和	川 崎 将 紀	片 庭 正 弘
瀬 戸 屋 敷	塚 原 忠 次	尾 花 久 夫	疋 田 長 一	栃 木 力 男
並 木	横 瀬 一 男	山 上 則 夫	坪 井 克 衛	渡 邊 マ サ ヲ
前 新 田	蒔 田 一 男	大 木 直 明	河 合 司	渡 邊 秋 彦
下 内	小 林 洋 寿	塚 田 幸 則	富 山 雪 菜	鈴 木 日 出 夫
加 下 間	中 沢 敏 徳	舟 橋 規 夫	清 水 澄 世	戸 高 春 司
間 中 橋	田 畑 俊 夫	石 丸 貴	永 塚 有 香	稲 葉 秀 子
間 中 橋 南	村 田 憲 蔵	天 野 ち づ る	佐 藤 善 幸	渡 邊 絵 美

本部役員・専門部会員 任期：令和5年4月1日～令和7年3月31日



名の崎会 役員研修会に参加して

名の崎会 副会長 大谷 正明

ここ最近、北から南まで日本各地で大きな地震が多発しており、その地震の速報が流れてくる度に私共の地域においても大きな地震が起こっても不思議ではないといつも感じているのは私だけではないかと思います。

そんな中1月29日に名の崎会の役員研修会に参加し、地震、津波に加え、原発事故が重なる未曾有の複合災害に見舞われた福島県いわき市にあるいわき震災伝承みらい館に行ってまいりました。地震、津波によって街がすっかり消失した映像や震災を体験した方々の当時の状況を語られた場面、また傷つきながらも復活させた学校の奇跡のピアノなどを見て、そのリアルな大災害を改めて認識することができました。そしてこの教訓を私達の地域においても災害に対する危機意識や防災意識の向上に今後は努めていかなければいけないと強く感じる事ができた1日でした。



この部分には、地元協力者の公告が掲載されています。